「季節の中で」八月に新曲！

松山千春のシングル盤として新曲『季節の中で』が八月二十一日に発売となります。

つづいて目下、サード・アルバム盤を制作中ですがこれは十月二十一日に発売の予定です。

昨年一月にデビューいらいシングル盤四枚、アルバム盤二枚を世におくり出しましたが、これをテレビやラジオや出版などで使用された統計が、このほど日本音楽著作権協会から発表されました。

これは本年三月までの分で『青春』はふくまれていませんが、使用回数の多い順序はつぎのとおりです。

父さん
私を見つめて
時のいたずら
白い花
こんな夜は
南風にのせて
走れ夜汽車
なみだ
帰ろう
雨あがりの街
君が好きさ
君はそばに
足寄より
あなただけ
旅立ち
初恋
かざぐるま
銀の雨
大空と大地の中で
オホーツクの海
おやすみ
君のために作った歌
今日限り
この道より道廻り道
ためらい

読者の室

私は千春に感謝しています

函館市のK・Kさんから

『私ちーさまにお礼を言わなくちゃいけないんです、と言うのは私はちーさまに沢山のことを教えられました、自分のふる里を大切にすること、自然の素晴らしさ、人生の厳しさ、そして何よりも「努力」することなどなど、皆んながくじけそうになった時ちーさまの言葉をもとに立ち直らせてくれました、この私もラジオから流れてくるちーさまの言葉に助けられたこと数えきれない程あります。自分のふる里を嫌って都会にあこがれた時ちーさまは「自分のふる里が一番、田舎には田舎のセンスがある」と教えてくれました、もう駄目とあきらめかけた時ちーさまの力強い「努力」の言葉を厳しくそして優しくくり返して下さいました、今ではふる里、自然そして努力という言葉の素晴らしさが解ってきたように思います、人生の厳しさはまだ解らないけど、どんなに貧しく苦しくても私は自分自身の人生をくじけず精一杯生きる自信があります、こんなに沢山のことを教えてくれたちーさまを私とっても尊敬、感謝しています』

★　★

千葉県のK・Kさんから

『十勝新聞が届いた時の母や父の顔、父「お前まさか過激派に参加してるんじゃないだろうナ？」母「松山千春って本当に歌手なの？」一生けん命時間をかけて説明したところ、やっと理解してくれて今度は、「家族ぐるみでこんなにイヤがらずにファンを大切にしていて素晴らしい」とおほめの言葉、さあもう少しで二人共　松山さんの大ファだろう、お父上、お母上、千春を生んでくれてありがとう御座居ました』

★　☆

大分県のK・Aさんから

忠告その一　オールナイトの日本の放送の中であるアカペラでよく女の人から電話がかかってくる時初めて話す人でもなれなれしいと思います、話をして居る人は千春と話せていいかもしれないが、聞いてる方は何となくしっとを感じます

忠告その二　千九百七十八年七月四日の放送でまだ結婚はしないと言いましたがいつ頃までですか、どうせなら私が誰かと結婚をするまでしないで下さい

忠告その三　お肉を沢山食べて下さい

忠告その四　私を好きな女の子の中に入れて下さい

忠告その五　夜は早く寝て下さい。

しあわせを自分の手で―

千歳市のS・Sさんから

『こんにちわ！ちはる様、この間友達と本屋へ行った時の出来事（ガッツ八月号）の表紙にちはるの名前がのっていたのです、もちろん買いましたヨ今月と言うより七月はこれで三冊目、とにかく千春ののっているのはすべて買っているのです どんなに小さくても、千春昔もっと髪を長くてヒゲなんかはやしていたでしょ、その時の写真が本にのってたんですけど持ってますヨ その時感じた事はあんな素敵な声でしかも素晴しい歌をこんな人が歌っている、そう感じたものです、それでも嫌いになれなかった、次に見たのは「旅立ち」が全道にヒットして本にのったんです、その時の顔を見て同一人物かなって今でこそ私の学校でも人気はありますが、最初の頃は私が皆なに「松山千春って素敵な人」なんて言っても「誰？女の人？」って言う感じで「旅立ち歌っている人ヨ」それでよーやく皆なも「あー、あの歌いいものねでも松山千春っていう人が歌っていたの」という具合で、そして〃かざぐるま〃のジャケットを見て友達が「サツ子こんなのが趣味？」なんて言われたり、でも私にとって千春より素敵な人はいない、その一言につきます、私も北海道が大好き千春に負けないぐらい、千春の〃大空と大地の中で〃と言う歌があるでしょう、千春の北海道に対する気持が一辺で解る感じがします「果てしない大空と広い大地のその中でいつの日か幸わせを自分の腕でつかむよう」特にこの部分気に入りました、私も絶対に自分の腕で幸せをつかみ取ろうと思うのです、本当の幸せがどこにあるか、何が幸せか、ひょっとしたら死まで解らないかもしれない、この両手でさぐりあててみたいと思います、でもこうやって五体満足に暮らしている、これこそ幸せなことかもしれないそう思いませんか？千春さま約束して下さい、絶対に北海道を離れないって そして恋愛の歌もいいけど北海道を愛する気持、何よりも足寄を愛する気持を歌って行って下さいお願いします、千春さまのコンサートに参加するたびにいつも考えさせられる、新鮮な気持になる、千春さまが歌い続ける限り私も千春さまのコンサートに参加します』

★　★

熊本県のM・Uさんから

『今日は六月二十七日火曜日です、昨夜のオールナイト日本バッチリ聞きました すごーく充実してたみたいでした、私のリクエストした「大空と大地の中で」は五位「銀の雨」は三位と上位にあった嬉しかった、カセットにも吹き込んで昨夜のオールナイト日本ばかり特別に吹き込んだと言うのじゃないんです、私の場合は毎週千春様のオールナイトは吹き込むことにしているのです、それを学校から帰って来て毎日毎日聞いているのです、どんなに学校で嫌なことがあっても、千春様の声を聞くとファイトが出るのです、お陰で千春様のオールナイトの内容、文句、全て覚えてしまいます、話しは変り、今朝地方新聞「熊本日日新聞」を開いてナ、ナ、ナント千春様の写真がのっているではありませんか、さーすが地方新聞ピンとはずれではないのエート、コンサートから13日もたっているのに千春様のこと大々的に取り扱ってくれて「フォークシンガー松山千春って知ってる？」のクレッションマークが気になるけど、又話し変って本当は手紙には音楽についても書きたいんですけど、私音楽についてはまるで無知なんです、学校では芸術で音楽を取らなかったし高校二年間は音楽の学問は〇点です、小学一年の時に習ったハ調だけです私の読めるのはでも音楽に対しては感じるものは持っているつもりです、曲の方から詩の方へと話しは変りますがこの間学校の先生と友達二、三人で千春様のこと話していたのです、「さだ・まさし」さんのことも出た当然「千春様」と「さださん」の詩を比較する事になったんです、先生「千春君の詩はすごく解りやすいけど、さだまさしみたいに文学的と言うのか自分の感じたものをそのまま出すのではなく一度頭の中でみがき上げ言葉で詩を書いているからハットする時があるね」と言われたのです、私はその時何も言うことが出来ず「そうですか？」としか言えなかったけど自分なりに考えたんです、千春は千春、さださんはさださん、などと言う紋切り型の言葉で解決し様とした私に、プロテスト・フォークという言葉が頭に浮んできたんです、この言葉をよく理解していませんが、プロテスタントというのは抗議者の意味でしょう？だから千春様は世の中に抗議している詩も書くし人間の汚れたところも書くだろうし、さださんはそういう詩は書かない美しいものばかりしか書かないと思うのです、千春様「受験生のブルース」なんてユーモラスに歌ってあるけど、あれも矢張り世の中に抗議しているプロテストフォークなんでしょう、これでやっと千春とさださんの違いというか何というか自分をごまかさずことなく、解ったと信じてます別にむずかしい言葉なんて使わなくてもいいじゃない、千春バンザイですよね、私今考えている事が二つあります、一つは同性から好かれる女性になることが本当の素晴らしい女性じゃないかってこと、二つ目は自分は人から何かしてもらうことばかり考えて自分は人に何をしてやった、よく「せっかく…したのに」とよく言うことがありますがそれは本当に相手の人に対して良い事をしたのでなく十までの内九までで九までが半分で後一つが半分、本当にむずかしいのは残り一つなんですね、千春様今学校で千春様の曲が（青春）才一です、昼食の放送で千春のオールナイト日本を流す様に交渉しています、千春様お体だけは本当に注意して下さい車に乗ることが多いと思いますが適度な運動もお忘れなく』

★　★

北九州のM・Tさんから

『まず、私が千ー様に狂い始めた発達段階としまして〃旅立ち〃を聞いてあーいい歌だなーとかすかに思い（今はずんと重く思い）次にラジオで松山千春北海道より愛をこめてというのがあり、なぜか必死に録音してそれが私の心に何かボッとするものがあって本格的な千春通になってしまったのです、皆千春の写真を見せるとまず才一にくる言葉が〃誰〃そして私松山千春ヨ、エー千春って男だったの！この会話なのです、それにも負けず何を言われても私ひたすら頑張っております、オールナイトもバッチリ聞いて居ます、コンサートも行きました、唐津のコンサートに行ったのですフォーク音楽祭の時見たもん、だけどやはり千春様のワンマンショーがいいですネ、純生が一番です唐津のコンサートの時のこと覚えてますか、私悪いと思いながらも〃かまきりー〃って叫んでしまったのです、そしたら千ー様、なんと受けて下さって感激でした、その事を思い出すと夢みたいで（単純すぎるでしょうか）部屋には大きな北海道の地図をはっていつも、ああ遠いなーとながめています いいですネ、ふる里があんな大きな自然の中で、私のふる里も足寄に負けず陥らず（いやもう負けているかな）の片田舎だけど、何せスケールが小さすぎるんですもん、私のふる里と佐賀地図を見たらどこか解らないみたいなとこ、でもそこで千ー様はコンサートをしてくれた、ありがとう！話はあっちこっち飛んでスーパーマン、千ー様の歌すごく繊細ですネ、何って言ったらいいのかなー、優しいよりももっと優しいって感じ表現に乏しいけどあんなことを千ー様が誰かに言ろのかと思ったらチョッピリ淋しいのと女のしっとでくやしいのとがあるけれど、優しいのは千ー様の心の現われかな、ところで千ー様の詩はどんな時に生まれるのですか、これからの詩は千ー様の体験から生まれたのでしょうか、そうだとすれば、でも私は千ー様を信じているからいいのです』

千春の近況

足寄へは月に一、二度くらいしか帰ってこれなくなった千春は、もう足寄町開拓農協チームのレギュラーとして朝野球に精を出すわけにもいかなくなりましたが、それでも機会があれば親友のキャッチャー鈴木幸弘君と足寄高校グラウンドでピッチングの練習、この日はわざわざ宇都宮市から訪れたファンの方々とカメラにおさまったところ

ラジオやコンサートでは、ヒマがあればいつでも足寄でノンビリしているように思われ勝ちで、毎日、朝から晩まで電話を頂きますものの、ほとんど不在です。

なにしろ毎週二回の深夜放送をうけもっているので、足寄に引っ込んでしまうと舶空機の関係で番組に支障をきたすおそれがあるので、札幌なり東京なりにいた方が安全ということになります。

八月一日には箱根彫刻の森で、八日は志賀高原で、十六日は足寄で、二十六日は札幌厚生年金会館で、九月から全国コンサートがはじまります。